

次期北九州市健康づくり推進プラン指標(案)

第二次北九州市健康づくり推進プラン指標

大 No. 小 No. (再掲)

分類	次期健康づくりプラン指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)		
大目標	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	健康寿命の延伸・健康格差の縮小	日常生活に制限のない期間の平均	男性:71.94年 女性:75.63年	(R元)		
			日常生活に制限のある期間(不健康な期間)の平均の男女差	2.93年 (男性:8.50年、 女性:11.43年)	(R元)		
1	基本目標1 個人の行動と健康状態の改善 1-1 生活習慣の改善	(1) 栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの者の割合の減少)	20~60歳代男性の肥満者の割合(BMI:25以上)	31.3%	(R4)	
2			40~60歳代女性の肥満者の割合(BMI:25以上)	22.0%	(R4)		
3			20歳代女性のやせの者の割合(BMI:18.5未満)	18.9%	(R4)		
4			低栄養傾向の高齢者の割合(BMI:20以下の高齢者の割合)	21.8%	(R4)		
5			小学1年生の肥満傾向児の割合	6.81%	(R4)		
6			小学5年生男子の肥満傾向児の割合	15.46%	(R4)		
7			小学5年生女子の肥満傾向児の割合	11.52%	(R4)		
8			中学生女子痩身傾向児の割合	2.94%	(R4)		
2			バランスのよい食事を摂っている者の増加	小学生の主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を1日2回以上摂取する者の割合	小学生の主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を1日2回以上摂取する者の割合	69.1%	(R4)
10					中学生の主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を1日2回以上摂取する者の割合	65.5%	(R4)
11					20歳以上の主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を1日2回以上摂取する者の割合	43.1%	(R4)
3	朝食を欠食する者の減少	中学3年生における朝食をほとんど食べない者の割合	中学3年生における朝食をほとんど食べない者の割合	3.6%	(R4)		
13			20~30代における朝食をほとんど食べない者の割合	25.3%	(R4)		
4	野菜摂取量の増加	20歳以上の1日350g以上の野菜を食べていると思う者の割合	12.8%	(R4)			
5	食塩摂取量の減少	20歳以上の塩分を控えていると思う者の割合	55.9%	(R4)			
6	(2) 身体活動・運動	運動習慣者の増加	20~64歳男性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	35.4%	(R4)		
17			20~64歳女性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	33.2%	(R4)		
18			65歳以上男性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	41.8%	(R4)		
19			65歳以上女性の運動習慣者の割合(30分以上、週に3日以上運動する人)	47.3%	(R4)		
7			週60分以上、体育の授業以外で運動している子どもの増加	小学5年生男子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	91.5%	(R4)	
21	小学5年生女子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	84.9%	(R4)				
22	中学2年生男子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	89.7%	(R4)				
23	中学2年生女子の週60分以上、体育の授業以外で運動している割合	75.9%	(R4)				

変遷	基本目標	分類	第二次プラン指標の項目	ベースライン値	(主にH28年度)	現状値	(年度)
継続	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの者の割合の減少)	25.3%	(H28)	31.3%	(R4)
			20~60歳代男性の肥満者の割合(BMI:25以上)				
			40~60歳代女性の肥満者の割合(BMI:25以上)	16.5%	(H28)	22.0%	(R4)
			20歳代女性のやせの者の割合(BMI18.5未満)	21.4%	(H28)	18.9%	(R4)
継続	基本目標II 多様な背景の市民に対応する健康づくり	栄養	低栄養傾向の高齢者の割合の増加の抑制(BMI:20以下の高齢者の割合)	21.7%	(H28)	21.80%	(R4)
5歳児→小学校1年生に変更	基本目標II 多様な背景の市民に対応する健康づくり	栄養・食生活	肥満傾向児の減少・女子の痩身傾向児の割合の減少	5歳児	(H29)	6.3%	(R3)
継続	基本目標II 多様な背景の市民に対応する健康づくり	栄養・食生活	肥満傾向児の減少・女子の痩身傾向児の割合の減少	小学5年生 男子 肥満傾向児の割合	(H28)	15.0%	(R3)
			小学5年生 女子 肥満傾向児の割合	8.4%	(H28)	10.2%	(R3)
			中学生 女子 痩身傾向児の割合	3.3%	(H28)	2.9%	(R3)
夕食→食事を1日2回以上に変更	基本目標II 多様な背景の市民に対応する健康づくり	栄養・食生活	主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい夕飯を摂る子どもの割合	小学生	(H28)	69.1%	(R4)
				中学生	(H28)	69.0%	(R4)
夕食→食事を1日2回以上に変更	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	栄養・食生活	主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい夕飯を摂る者の割合の増加(20歳以上の男女の合計)	67.4%	(H28)	52.7%	(R4)
朝食を毎日食べる中学生→ほとんど食べない中学生の割合に変更	基本目標II 多様な背景の市民に対応する健康づくり	栄養・食生活	朝食をほぼ毎日食べる子どもの割合の増加	中学生	(H28)	88.7%	(R4)
新規							
新規							
新規							
週に1日以上、30分以上、週に3日以上に変更	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	身体活動・運動	運動習慣者の割合の増加(30分以上運動する人)	20~64歳男性	(H28)	57.6%	(R4)
				20~64歳女性	(H28)	56.1%	(R4)
				65歳以上男性	(H28)	62.1%	(R4)
				65歳以上女性	(H28)	70.2%	(R4)
継続	基本目標II 多様な背景の市民に対応する健康づくり	身体活動・運動	週60分以上、体育の授業以外で運動している子ども	小学5年生 男子	(R1)	90.6%	(R3)
				小学5年生 女子	(R1)	85.1%	(R3)
				中学2年生 男子	(R1)	89.7%	(R3)
				中学2年生 女子	(R1)	76.4%	(R3)

次期北九州市健康づくり推進プラン指標(案)

大 No.	小 No.	(再掲)	分類	次期健康づくりプラン 指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)
8	24		(3) 休養・睡眠	睡眠による休養を十分とれていない者の減少	20歳以上の睡眠による休養を十分とれていない者の割合	43.9%	(R4)	
9	25		(4) 飲酒	過度な飲酒をする者の減少(1日あたりの純アルコール摂取量)	男性における過度な飲酒をする者の割合(40g(基準量2倍)以上)	44.0%	(R4)	
	26	女性における過度な飲酒をする者の割合(20g(基準量)以上)			54.5%	(R4)		
10	27	妊娠中の飲酒をなくす		妊婦の飲酒率	0.6%	(R3)		
11	28	未成年者の飲酒をなくす		飲酒経験のある未成年者の割合(男子)	1.8%	(R4)		
	29		飲酒経験のある未成年者の割合(女子)	2.0%	(R4)			
12	30	(5) 喫煙	喫煙率の減少	男性における20歳以上の者の喫煙率	27.7%	(R4)		
	31			女性における20歳以上の者の喫煙率	8.0%	(R4)		
13	32		妊娠中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙率	3.3%	(R3)		
14	33		未成年者の喫煙をなくす	喫煙経験のある未成年者の割合(男子)	0.6%	(R4)		
	34	喫煙経験のある未成年者の割合(女子)		0%	(R4)			
15	35	(6) 歯・口腔の健康	う蝕の予防	3歳児でう蝕のない者の割合	86.8%	(R3)		
	36			12歳児でう蝕のない者の割合	58.7%	(R3)		
	37			40歳で未処置歯を有する者の割合	38.7%	(R3)		
	38			60歳で未処置歯を有する者の割合	27.3%	(R3)		
16	39		歯周病の予防	中学生における歯肉に炎症所見を有する者の割合	62.4%	(R4)		
	40			20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	22.2%	(R4)		
	41			40歳で歯周炎を有する者の割合	53.4%	(R4)		
	42			60歳で歯周炎を有する者の割合	59.6%	(R4)		

第二次北九州市健康づくり推進プラン指標

変遷	基本目標	分類	第二次プラン 指標の項目	ベース ライン値	(主に H28年 度)	現状値	(年度)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の 市民に対応す る健康づくり	休養・ ストレ ス	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	26.6%	(H28)	43.9%	(R4)
継続	基本目標Ⅰ データに基づ く生活習慣病 予防及び重症 化予防の推進	飲酒	過度な飲酒をする者の割合の減少(1日あたりの純アルコール摂取量)	男性 (40g(基準量2倍)以上) 女性 (20g(基準量)以上)	(H28)	44.0%	(R4)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の 市民に対応す る健康づくり	飲酒	妊娠中の飲酒をなくす	1.0%	(H28)	0.6%	(R1)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の 市民に対応す る健康づくり	飲酒	未成年者の飲酒をなくす	飲酒経験のある未成年者の割合(男子)	16.5%	(H28)	1.8%
	飲酒経験のある未成年者の割合(女子)			9.7%	(H28)	2.0%	(R4)
継続	基本目標Ⅰ データに基づ く生活習慣病 予防及び重症 化予防の推進	喫煙	喫煙者の割合の減少(20歳以上)	男性	27.9%	(H28)	27.7%
	女性			8.1%	(H28)	8.0%	(R4)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の 市民に対応す る健康づくり	喫煙	妊娠中の喫煙をなくす	4.6%	(H28)	3.3%	(R3)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の 市民に対応す る健康づくり	喫煙	未成年者の喫煙をなくす	喫煙経験のある未成年者の割合(男子)	2.4%	(H28)	0.6%
	喫煙経験のある未成年者の割合(女子)			1.2%	(H28)	0%	(R4)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の 市民に対応す る健康づくり	歯・口 腔	乳幼児・学齢期で う蝕のない者の割 合の増加	3歳児	76.9%	(H28)	86.8%
	12歳児			57.0%	(H28)	58.70%	(R3)
継続	基本目標Ⅰ データに基づ く生活習慣病 予防及び重症 化予防の推進	歯・口 腔	40歳で未処置歯を有する者の割合の減少	35.5%	(H28)	38.7%	(R3)
	60歳で未処置歯を有する者の割合の減少		33.8%	(H28)	27.3%	(R3)	
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の 市民に対応す る健康づくり	歯・口 腔	中学生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	22.7%	(H26)	22.8%	(H30)
継続	基本目標Ⅰ データに基づ く生活習慣病 予防及び重症 化予防の推進	歯・口 腔	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	37.6%	(H28)	22.2%	(R4)
	40歳における進行した歯周炎を有する者の割合の減少		50.2%	(H28)	51.9%	(R3)	
	60歳における進行した歯周炎を有する者の割合の減少		65.5%	(H28)	62.5%	(R3)	

次期北九州市健康づくり推進プラン指標(案)

大No.	小No.	(再掲)	分類	次期健康づくりプラン指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)			
17	43		(1) 健診受診	1-2. データに基づく生活習慣病の発症予防及び重症化予防の更なる推進	特定健診受診率・特定保健指導の受診率の向上	特定健診の受診率	34.2%	(R3)			
	44					特定保健指導の実施率	19.3%	(R3)			
18	45				がん検診の受診率の向上	がん検診の受診率の向上	胃がん検診の受診率(19歳以上)	49.0%	(R4)		
	46						肺がん検診の受診率(19歳以上)	35.4%	(R4)		
	47						大腸がん検診の受診率(19歳以上)	47.9%	(R4)		
	48						乳がん検診の受診率(19歳以上の女性)	53.4%	(R4)		
	49						子宮頸がん検診の受診率(19歳以上の女性)	55.9%	(R4)		
19	50				歯科健(検)診の受診率向上	歯科健(検)診の受診率向上	妊産婦歯科健康診査の受診率	38.4%	(R4)		
	51						1歳6か月児歯科健康診査の受診率	75.3%	(R4)		
	52						3歳児歯科健康診査の受診率	67.9%	(R4)		
	53						19歳以上における過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合	46.8%	(R4)		
	54						歯周病(歯周疾患)検診受診率(40歳、50歳、60歳、70歳の合計)	6.0%	(R4)		
20	55				(2) 生活習慣病の発症予防(危険因子の低減)	生活習慣病の発症予防(危険因子の低減)	高血圧症の患者の減少	高血圧症の患者の割合(180mmHg/110mmHg以上)(市国保健診)	1.02%	(R3)	
	21	56						脂質異常症の者の減少	脂質異常症の者の割合(市国保健診)	15.00%	(R3)
	22	57						血糖コントロール不良者の減少	血糖コントロール不良者の割合(HbA1c8.4%以上)(市国保健診)	1.27%	(R3)
	23	58						年間新規透析導入患者数の減少	年間新規透析導入患者数の割合(市国保加入者 千人当たり)	0.60人	(R3)
	24	59						メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合(市国保健診)	35.3%	(R3)
25	60				(3) 疾病の重症化予防	疾病の重症化予防	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	75歳未満のがんの年齢調整死亡率(10万人当たり)	82.4	(R1)	
26	61						脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少	男性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)	35.7	(H27)	
	62		女性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)	17.3				(H27)			
27	63		虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少	男性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)			22.9	(H27)			
	64			女性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(10万人当たり)			9.6	(H27)			
28	65		糖尿病の年齢調整死亡率の減少	男性の糖尿病の年齢調整死亡率(10万人当たり)			5.6	(H27)			
	66			女性の糖尿病の年齢調整死亡率(10万人当たり)			2.3	(H27)			

第二次北九州市健康づくり推進プラン指標

変遷	基本目標	分類	第二次プラン指標の項目	ベースライン値	(主にH28年度)	現状値	(年度)
継続	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	健康管理・その他	特定健診受診率・特定保健指導の受診率の向上	特定健診の受診率	35.8% (H28)	34.2%	(R3)
				特定保健指導の実施率	30.0% (H28)	19.3%	(R3)
データソースを健康づくり実態調査に変更	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	健康管理・その他	がん検診受診率 ( )内は国指標である69歳以下の受診率	胃がん	2.7% (4.0%) (H28)	3.3% (5.2%)	(R3)
				肺がん	3.3% (4.8%) (H28)	2.3% (3.7%)	(R3)
				大腸がん	7.1% (8.7%) (H28)	6.7% (8.5%)	(R3)
				乳がん	14.3% (28.0%) (H28)	13.1% (29.1%)	(R3)
				子宮頸がん	20.1% (35.5%) (H28)	18.7% (36.9%)	(R3)
継続	基本目標II 多様な背景の市民に対応する健康づくり	健康管理	歯科健康診査の受診率向上	妊産婦の受診率の向上	24.7% (H28)	34.0%	(R3)
				1歳6か月児	68.3% (H28)	75.8%	(R3)
				3歳児	63.2% (H28)	73.5%	(R3)
新規							
継続	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防	健康管理・その他	歯周疾患検診の受診率の向上	40歳、50歳、60歳、70歳の合計)の受診率の向上	4.5% (H28)	5.6%	(R3)
継続	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	健康管理・その他	高血圧症の患者の割合の減少(市国保健診)	高血圧症の患者の割合の減少(市国保健診)	0.92% (H28)	1.02%	(R3)
			脂質異常症の者の割合の減少(市国保健診)	脂質異常症の者の割合の減少(市国保健診)	13.93% (H28)	15.00%	(R3)
			血糖コントロール不良者の割合の減少(市国保健診)	血糖コントロール不良者の割合の減少(市国保健診)	1.13% (H28)	1.27%	(R3)
			年間新規透析導入患者数の割合の減少(市国保加入者 千人当たり)	年間新規透析導入患者数の割合の減少(市国保加入者 千人当たり)	0.51 (H28)	0.60	(R3)
新規							
継続	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防	健康管理・その他	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	75歳未満のがんの年齢調整死亡率(10万人当たり)	84.2 (H27)	82.4	(R1)
継続	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	健康管理・その他	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	男性	35.7 (H27)	35.7	(H27)
				女性	17.3 (H27)	17.3	(H27)
継続	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	健康管理・その他	虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	男性	22.9 (H27)	22.9	(H27)
				女性	9.6 (H27)	9.6	(H27)
継続	基本目標I データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	健康管理・その他	糖尿病の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	男性	5.6 (H27)	5.6	(H27)
				女性	2.3 (H27)	2.3	(H27)

次期北九州市健康づくり推進プラン指標(案)

大No.	小No.	(再掲)	分類	次期健康づくりプラン指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)
29	67		基本目標2 社会環境の質の向上	1-3. 生活機能の維持・向上	歯の喪失防止	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	74.1%	(R4)
	68	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加				57.7%	(R4)	
30	69	口腔機能の維持・向上			50歳以上における咀嚼良好者の割合	65.9%	(R4)	
31	70	歯・口腔に関する健康格差の縮小			3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合	4.1%	(R4)	
	71				40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合	18.0%	(R4)	
32	72	ロコモティブシンドロームの減少			運動機能の低下のリスクがある高齢者の割合(65歳以上)	15.2%	(R4)	
33	73	骨粗鬆症検診受診率の向上			骨粗鬆症検診受診率(健康増進法の対象年齢女性)	1.1%	(R4)	
34	74	心理的苦痛を感じている者の減少			心理的苦痛を感じている者の割合(K6における10点以上)	18.4%	(R2)	
35	75	悩みやストレスを相談することが恥ずかしいと思う者の減少			男性の悩みやストレスを相談することが恥ずかしいと思う者の割合	15.1%	(R2)	
	76				女性の悩みやストレスを相談することが恥ずかしいと思う者の割合	11.1%	(R2)	
36	77	自殺の減少			自殺死亡率(10万人当たり)	17.89	(R3)	
37	78	2-1. 社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上			地域との交流を楽しんでいる者の増加	40歳以上の地域との交流を楽しんでいる者の割合	22.5%	(R4)
38	79				社会参加する高齢者の増加	1年間に地域活動へ参加した高齢者の割合	20.8%	(R4)
	80					1年間にボランティア活動へ参加した高齢者の割合	8.8%	(R4)
39	81		健康づくりや介護予防のために取り組んでいる高齢者の増加	健康づくりや介護予防のために取り組んでいると答えた高齢者の割合	59.6%	(R4)		
40	82		市民主体の健康づくり(地域でGO!GO!健康づくり)の推進	地域の健康課題に沿った取り組みを実施している団体の増加	(集計中)			
41	83		ボランティア団体による健康づくり活動の推進	健康づくり推進員が関わる活動への参加者の増加	158,938人	(R3)		
	84			食生活改善推進員が関わる活動への参加者の増加	27,977人	(R3)		
42	85		2-2. 自然に健康になれる環境づくり	望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	家庭における受動喫煙の割合の減少(20歳以上)	12.0%	(R4)	
	86				飲食店における受動喫煙の割合の減少(20歳以上)	9.5%	(R4)	
	87				職場(学校)における受動喫煙の割合の減少(20歳以上)	13.2%	(R4)	
43	88	健康づくりを推進する飲食店等、食関連事業者の増加		「きたきゅう健康づくり応援店」の登録店舗数	878店舗	(R3)		

第二次北九州市健康づくり推進プラン指標

変遷	基本目標	分類	第二次プラン指標の項目	ベースライン値	(主にH28年度)	現状値	(年度)
継続	基本目標Ⅰ データに基づく生活習慣病予防及び重症	歯・口腔	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	69.7%	(H28)	74.4%	(R4)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の市民に対応する健康づくり	歯と口の健康	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	45.9%	(H28)	63.3%	(R4)
60歳代→50歳以上に変更	基本目標Ⅱ 多様な背景の市民に対応する健康づくり	歯と口の健康	咀嚼良好者の割合の増加(60歳代)	67.7%	(H28)	66.70%	(R4)
新規							
40歳以上、19歯以下に変更	基本目標Ⅰ データに基づく生活習慣病予防及び重症	歯・口腔	40歳で喪失歯のない者の割合の増加	81.6%	(H28)	87.2%	(R3)
新規							
新規							
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の市民に対応する健康づくり	休養・ストレス	心理的苦痛を感じている者の割合の減少(K6における10点以上)	17.1%	(H27)	18.4%	(R2)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の市民に対応する健康づくり	休養・ストレス	悩みやストレスを相談することが恥ずかしいと思う者の割合の減少	18.9%	(H27)	15.1%	(R2)
			男性				
			女性	12.6%	(H27)	11.1%	(R2)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の市民に対応する健康づくり	休養・ストレス	自殺死亡率の減少(10万人当たり)	19.04	(H27)	17.89	(R3)
継続	基本目標Ⅲ 市民の健康を支える社会環境の新創	その他	地域との交流を楽しんでいる者の割合の増加(40歳以上)	27.7%	(H28)	22.5%	(R4)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の市民に対応する健康づくり	その他	この1年間地域活動・ボランティア活動へ参加した高齢者の割合の増加	31.8%	(H28)	25.7%	(R1)
			地域活動				
			ボランティア	8.8%	(H28)	10.3%	(R1)
継続	基本目標Ⅲ 市民の健康を支える社会環境の新創	その他	健康づくりや介護予防のために取り組んでいると答えた高齢者の割合	68.3%	(H28)	62.6%	(R1)
実施団体数→健康課題に沿った取り組みの実施団体	基本目標Ⅲ 市民の健康を支える社会環境の新創	その他	市民主体の健康づくり(地域でGO!GO!健康づくり)実施数の増加	128団体	(H28)	132団体	(R3)
継続	基本目標Ⅲ 市民の健康を支える社会環境の新創	その他	健康づくり推進員が関わる活動への参加者の増加	522780人	(H28)	158938人	(R3)
継続	基本目標Ⅲ 市民の健康を支える社会環境の新創	その他	食生活改善推進員が関わる活動への参加者の増加	412043人	(H28)	27977人	(R3)
継続	基本目標Ⅰ データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	喫煙	受動喫煙の割合の減少(20歳以上)	14.1%	(H28)	12.0%	(R4)
			家庭				
			飲食店	29.9%	(H28)	9.5%	(R4)
新規							
継続	基本目標Ⅲ 市民の健康を支える社会環境の新創	その他	健康づくりを推進する飲食店等、食関連事業者の増加	708店舗	(H28)	878店舗	(R3)

次期北九州市健康づくり推進プラン指標(案)

大 No.	小 No.	(再掲)	分類	次期健康づくりプラン指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)
44	89			2-3. 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備	健康経営の推進	健康経営を推進する市内企業等の増加	1,131事業所	(R4.11)
45	90				健康づくりに関するデジタルツールを活用する者の増加	健康管理のためにスマートフォンアプリを活用する者の割合(19歳以上)	17.3%	(R5)
46	91				口腔の健康と全身の健康の関係に関する知識の普及	19歳以上における歯周病と糖尿病の関係を知っている者の割合	32.6%	(R4)
92						65歳以上における口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている者の割合	54.1%	(R4)
47	93				慢性閉塞性肺疾患(COPD)の認知度の向上	20歳以上における慢性閉塞性肺疾患(COPD)の名前も内容も知っている者の割合	24.2%	(R4)
48	94				ロコモティブシンドロームの認知度の向上	40歳以上におけるロコモティブシンドロームの名前もしくは内容を知っている者の割合	38.2%	(R4)

第二次北九州市健康づくり推進プラン指標

変遷	基本目標	分類	第二次プラン指標の項目	ベースライン値	(主にH28年度)	現状値	(年度)
継続	基本目標Ⅲ 市民の健康を支える社会環境の新創	その他	健康経営を推進する市内企業等の増加(協会けんぽ等との連携)	-	(H28)	1,311事業所	(R4) R4.11.17時点
新規							
	基本目標Ⅰ データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	対象を40歳以上→19歳以上へ変更	歯・口腔	歯周病と糖尿病の関係を知っている者の割合の増加(40歳以上)	33.2%	(H28)	33.9% (R4)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の市民に対応する健康づくり	歯と口の健康	口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている者の割合(65歳以上)	55.1%	(H28)	54.1%	(R4)
継続	基本目標Ⅰ データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進	喫煙	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の認知度の向上(20歳以上)	19.8%	(H28)	24.2%	(R4)
継続	基本目標Ⅱ 多様な背景の市民に対応する健康づくり	身体活動・運動	ロコモティブシンドロームを認知している市民の割合(40歳以上)	27.6%	(H28)	38.2%	(R4)

次期北九州市健康づくり推進プラン指標(案)

再掲

大 No.	小 No.	(再掲)	分類	次期健康づくりプラン 指標の項目	目的	指標	現状値	(年度)
95	○	基本目標3 ライフコースアプローチ～ライフステージに特有の健康づくりの取組みを進める～	3-1. 次世代	適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの者の割合の減少)(再掲)	小学5年生男子の肥満傾向児の割合			
96	○				小学5年生女子の肥満傾向児の割合			
97	○				中学生女子痩身傾向児の割合			
98	○			未成年者の飲酒をなくす(再掲)	飲酒経験のある未成年者の割合(男子)			
99	○				飲酒経験のある未成年者の割合(女子)			
100	○			未成年者の喫煙をなくす(再掲)	喫煙経験のある未成年者の割合(男子)			
101	○				喫煙経験のある未成年者の割合(女子)			
102	○			3-2. 就労世代	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少(再掲)	20歳以上の睡眠による休養を十分とれていない者の割合		
103	○				適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの者の割合の減少)(再掲)	20～60歳代男性の肥満者の割合(BMI:25以上)		
104	○					40～60歳代女性の肥満者の割合(BMI:25以上)		
105	○		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(再掲)		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合(市国保健診)			
106	○		過度な飲酒をする者の減少(1日あたりの純アルコール摂取量)(再掲)		男性における過度な飲酒をする者の割合(40g(基準量2倍)以上)			
107	○				女性における過度な飲酒をする者の割合(20g(基準量)以上)			
108	○		喫煙率の減少(再掲)		男性における20歳以上の者の喫煙率			
109	○				女性における20歳以上の者の喫煙率			
110	○		3-3. 女性	適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの者の割合の減少)(再掲)	20歳代女性のやせの者の割合(BMI:18.5未満)			
111	○			骨粗鬆症検診受診率の向上(再掲)	骨粗鬆症検診受診率(健康増進法の対象年齢女性)			
112	○			過度な飲酒をする者の減少(1日あたりの純アルコール摂取量)(再掲)	女性における過度な飲酒をする者の割合(20g(基準量)以上)			
113	○	妊娠中の喫煙をなくす(再掲)		妊婦の喫煙率				
114	○	3-4. 高齢者	健康づくりや介護予防のために取り組んでいることがある高齢者の増加(再掲)	健康づくりや介護予防のために取り組んでいることがあると答えた高齢者の割合				
115	○		適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの者の割合の減少)(再掲)	低栄養傾向の高齢者の割合(BMI:20以下の高齢者の割合)				
116	○		ロコモティブシンドロームの減少(再掲)	運動機能の低下のリスクがある高齢者の割合(65歳以上)				
117	○		地域活動・ボランティア活動へ参加した高齢者の増加(再掲)	この1年間地域活動へ参加した高齢者の割合				
118	○			この1年間ボランティア活動へ参加した高齢者の割合				